岩盤ボーリング柱状図

調査名　二級河川 御手洗川水系 御手洗川支川18通常砂防事業に伴う測量設計業務

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	R1-Bor.No.2	調査位置	堰堤左岸袖部	北緯	34° 21′ 40.4447″
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所	調査期間	令和元年10月 4日～ 令和元年10月 4日	東経	132° 16′ 22.6218″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 322.48m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	8.00m	地盤勾配	52° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1-B58型
					エンジン：ヤンマーNFD-12型　ポンプ：東邦BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率(%) / 最大コア長(cm) / RQD(%)	記事	孔内水位/測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度(cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削孔水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
	321.83	0.65	S	粘土混じり砂	茶褐								上部木根混入。細砂～中砂を主体とする。GL-0.00～0.20m 粘土分がやや多い。φ2～5mmの小礫を全体的に少量含む。										300		シングル/M	10	50	0	W1/0	0
1	320.88	1.60	Gr	花崗岩	淡茶褐～黄淡褐	w4	h4	E	VI	d	DL		DL級で砂質土状コアを呈する強風化花崗岩。指圧で容易に潰せ、部分的に粘土を挟む。			14	1.15 / 1.45	14 / 300					200	66/ケーシング	ダブル/M	20	50	0	W2/15	15
2																34	2.15 / 2.45	34 / 300													
3			Gr	花崗岩	淡褐		h3		V		DM		砂質土状～礫状コア。DM級。局所的に粘土を挟み、指圧もしくはハンマー軽打で崩れる。			46	3.15 / 3.45	46 / 300													
4	317.78	4.70					h4		VI							37	4.15 / 4.45	37 / 300													
5					褐～暗茶褐								DH級で細礫～角礫状を呈す。未風化部分はφ2～4mmの角礫とし全体に残存する。			50以上	5.15 / 5.37	50 / 220	220				150	66	ダブル/M	20	70	0	W2/20	20
6			Gr	花崗岩			h3		V		DH					50以上	6.05 / 6.27	50 / 220	220												
7																50以上	7.05 / 7.28	50 / 230	230												
8	314.48	8.00														50以上	8.15 / 8.35	50 / 200	200				10/4								
9																															
10																															
11																															
12																															
13																															